

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年10月15日

【四半期会計期間】 第78期第3四半期(自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

【会社名】 株式会社ノダ

【英訳名】 NODA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 野田章三

【本店の所在の場所】 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号

【電話番号】 東京03(5687)6222番 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 辻村 力

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区浅草橋5丁目13番6号

【電話番号】 東京03(5687)6222番 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 辻村 力

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第77期 第3四半期 連結累計期間	第78期 第3四半期 連結累計期間	第77期
会計期間	自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日	自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日	自 平成25年12月1日 至 平成26年11月30日
売上高 (千円)	44,379,277	43,744,657	60,208,240
経常利益 (千円)	1,916,285	619,536	2,351,683
四半期(当期)純利益 (千円)	991,334	357,782	1,529,177
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,250,248	40,245	2,224,512
純資産額 (千円)	18,180,843	18,631,639	18,910,056
総資産額 (千円)	48,449,085	48,072,465	52,512,507
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	61.87	21.30	94.31
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	34.5	35.4	32.9

回次	第77期 第3四半期 連結会計期間	第78期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日	自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	7.17	9.63

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前連結会計年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成26年12月1日～平成27年8月31日）は、中国など海外経済の減速が懸念される一方、国内経済は円安が続くなか輸出型企業などを中心に業績や雇用環境の改善が見受けられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

住宅需要につきましては、昨年4月の消費税率引上げによる駆け込み需要の反動減から住宅需要の低迷が長期化するなか、当年度上期（平成26年12月～平成27年5月）においては、当グループの事業と関係の深い持家の着工数が前年同期に比べ大幅に減少し、6月以降は着工数が増加傾向となり住宅需要に持直しの動きも見られたものの、総じて厳しい事業環境となりました。

こうしたなか当グループは、シート貼りの次世代フローリングや、デザイン性や施工性を強化した建具類など、昨年10月に全面的なモデルチェンジを実施した新製品・新シリーズの早期市場定着をはかるとともに、安心安全ユニバーサルデザイン（UD）など高齢者対応、子育て支援、環境、リフォーム、住宅の長寿命化等をテーマに床材や建具など建材製品の拡販・シェアの確保とフロア製品等の販売価格引上げなどに取り組みました。また、合板類の適切な生産、仕入、販売に努め、収益力の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は43,744百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は305百万円（前年同期比83.6%減）、経常利益は619百万円（前年同期比67.7%減）となりました。また、税制改正による税率変更に伴う法人税等調整額の増加146百万円の影響もあり、四半期純利益は357百万円（前年同期比63.9%減）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

〔住宅建材事業〕

住宅建材事業につきましては、昨年投入したデザイン性・施工性を強化した建具類の新シリーズ「BINOIE（ピノイエ）」や、斬新で表情豊かなインテリア空間を表現する建具とフローリングのシリーズ「Art Couture（アートクチール）」、本年5月から静岡県内の当社新工場で生産を開始した国産針葉樹合板を基材に使用したフローリング「Jクラレス」など、新製品・新シリーズの早期市場定着や新規顧客の開拓、製品競争力の強化、円安影響の大きいフロア製品の一部の販売価格引上げなどに注力いたしました。また、足腰への負担や転倒時の危険を軽減する「衝撃吸収フロア ネクシオ」などUD関連製品による事業展開では、全国各地のケア連携型バリアフリーのショールームや、外部の各種展示会等も活用し、一般住宅のほか、サービス付き高齢者向け住宅、介護施設など非住宅分野への提案営業も推進しシェアの確保に努めました。さらに、地震や台風など災害に強い住宅構造材として、耐震性能や劣化軽減性能に優れた構造用MDFの更なる市場開拓をはかりました。これら住宅建材の原材料は、CO₂削減や貴重な森林資源の有効活用をはかる観点からMDF（中質繊維板）や国産針葉樹合板など、地球環境に優しいリサイクル素材や国産材の活用に取り組み、環境問題への関心が高い顧客ニーズの掘起こしに努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間は、駆け込み需要のピーク時を含む前年同期に比べ、総じて厳しい需要環境となるなか、円安による原材料価格の上昇やエネルギーコストの増加、製品のモデルチェンジに伴う一時的な費用負担や一部製品の生産遅れなどの要因もあり、住宅建材事業の売上高は28,645百万円（前年同期並み）、セグメント利益は1,164百万円（前年同期比28.1%減）となりました。

〔合板事業〕

住宅需要が低迷し、また円安による輸入南洋材合板の仕入コスト上昇など厳しい事業環境となるなか、輸入南洋材合板は採算重視の販売に努めたことから、前年同期に比べ販売数量が減少いたしました。一方、国産針葉樹合板は、LVL（単板積層材）や新工場で生産を開始した合板製品の市場投入などもあり販売数量は増加しましたが、本年6月頃まで続いた国内合板相場の低迷に伴う製品販売価格の低下や、新工場の稼働・生産開始に伴う固定費増加の影響などもあり、合板事業の売上高は15,099百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益は97百万円（前年同期比92.5%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、27,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,323百万円減少しました。

その主な要因は、現金及び預金の減少4,199百万円、受取手形及び売掛金の減少1,328百万円、たな卸資産の増加948百万円、繰延税金資産の増加41百万円などによるものです。

固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、20,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円減少しました。

その主な要因は、有形固定資産の増加386百万円、無形固定資産の減少50百万円、投資有価証券の減少348百万円、繰延税金資産の減少132百万円などによるものです。

流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、19,504百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,159百万円減少しました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,356百万円、短期借入金の増加628百万円、未払金の減少521百万円、未払法人税等の減少220百万円、設備関係支払手形の減少843百万円、圧縮未決算特別勘定の減少1,400百万円などによるものです。

固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、9,936百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少しました。

その主な要因は、退職給付に係る負債の増加28百万円、リース債務の減少40百万円などによるものです。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、18,631百万円となり、前連結会計年度末に比べ278百万円減少しました。

その主な要因は、四半期純利益による利益剰余金の増加357百万円、配当による利益剰余金の減少184百万円、その他有価証券評価差額金の増加62百万円、為替換算調整勘定の減少458百万円などによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、103百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,303,200
計	68,303,200

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,339,200	17,339,200	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	17,339,200	17,339,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成27年8月31日	-	17,339,200	-	2,141	-	1,587

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成27年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 543,000		(注) 1
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,795,200	167,952	(注) 2
単元未満株式	普通株式 1,000		
発行済株式総数	17,339,200		
総株主の議決権		167,952	

(注) 1. 「完全議決権株式(自己株式等)」の欄は、全て当社保有の自己株式であります。

2. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、1,900株(議決権19個)含まれております。

【自己株式等】

平成27年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ノダ	東京都台東区浅草橋 5 - 13 - 6	543,000		543,000	3.1
計		543,000		543,000	3.1

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成27年6月1日から平成27年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年12月1日から平成27年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,460,235	8,260,353
受取手形及び売掛金	9,163,443	7,835,416
製品	5,870,266	6,377,807
仕掛品	1,325,252	1,276,116
原材料及び貯蔵品	1,956,382	2,446,506
繰延税金資産	515,289	556,749
その他	837,591	1,052,094
貸倒引当金	4,957	4,957
流動資産合計	32,123,503	27,800,086
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,845,868	2,355,514
機械装置及び運搬具（純額）	3,878,357	5,842,320
工具、器具及び備品（純額）	257,007	235,294
土地	4,481,222	4,508,411
立木	-	141,064
リース資産（純額）	196,428	208,370
建設仮勘定	2,434,292	189,049
有形固定資産合計	13,093,176	13,480,026
無形固定資産		
リース資産	199,748	157,001
その他	64,584	57,072
無形固定資産合計	264,332	214,073
投資その他の資産		
投資有価証券	5,127,609	4,778,674
長期貸付金	27,861	24,980
繰延税金資産	1,235,822	1,103,493
その他	642,201	673,130
貸倒引当金	2,000	2,000
投資その他の資産合計	7,031,494	6,578,279
固定資産合計	20,389,004	20,272,379
資産合計	52,512,507	48,072,465

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,472,845	9,116,399
短期借入金	7,318,004	7,946,630
リース債務	114,539	122,299
未払金	1,736,746	1,214,772
未払法人税等	317,024	96,400
未払消費税等	174,396	40,694
設備関係支払手形	1,085,857	242,804
圧縮未決算特別勘定	1,400,000	-
その他	1,043,869	724,228
流動負債合計	23,663,286	19,504,230
固定負債		
社債	130,000	130,000
長期借入金	4,234,676	4,235,599
リース債務	279,236	238,332
退職給付に係る負債	4,836,562	4,865,504
役員退職慰労引当金	367,010	375,480
環境対策引当金	80,930	80,930
資産除去債務	10,750	10,750
固定負債合計	9,939,165	9,936,596
負債合計	33,602,451	29,440,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	13,272,397	13,428,007
自己株式	240,816	240,816
株主資本合計	16,760,403	16,916,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	476,517	538,777
繰延ヘッジ損益	24,668	2,279
為替換算調整勘定	274,280	183,773
退職給付に係る調整累計額	245,050	234,699
その他の包括利益累計額合計	530,415	122,583
少数株主持分	1,619,237	1,593,042
純資産合計	18,910,056	18,631,639
負債純資産合計	52,512,507	48,072,465

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
売上高	44,379,277	43,744,657
売上原価	33,830,563	34,664,371
売上総利益	10,548,713	9,080,286
販売費及び一般管理費	8,686,308	8,774,600
営業利益	1,862,405	305,685
営業外収益		
受取利息	6,091	5,607
受取配当金	32,671	34,698
業務受託料	18,064	9,742
経営指導料	52,915	56,550
持分法による投資利益	96,698	305,084
その他	40,502	72,855
営業外収益合計	246,945	484,538
営業外費用		
支払利息	102,535	86,796
売上割引	24,100	31,727
売上債権売却損	43,133	36,189
その他	23,294	15,973
営業外費用合計	193,064	170,687
経常利益	1,916,285	619,536
特別利益		
補助金収入	773,954	2,890,731
投資有価証券売却益	-	102,178
特別利益合計	773,954	2,992,909
特別損失		
固定資産除却損	230,966	16,123
固定資産圧縮損	729,133	2,890,731
特別損失合計	960,099	2,906,854
税金等調整前四半期純利益	1,730,139	705,591
法人税、住民税及び事業税	239,589	130,234
法人税等調整額	324,309	95,407
法人税等合計	563,899	225,642
少数株主損益調整前四半期純利益	1,166,240	479,949
少数株主利益	174,906	122,166
四半期純利益	991,334	357,782

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,166,240	479,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,332	62,263
繰延ヘッジ損益	443	22,388
退職給付に係る調整額	-	10,350
持分法適用会社に対する持分相当額	101,897	570,420
その他の包括利益合計	84,007	520,194
四半期包括利益	1,250,248	40,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,055,190	50,049
少数株主に係る四半期包括利益	195,057	9,804

【注記事項】

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が26,725千円増加し、利益剰余金が17,414千円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の34.8%から、平成27年12月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については32.3%に、平成28年12月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については31.6%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)が132,051千円、退職給付に係る調整累計額が11,327千円それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が25,761千円、法人税等調整額が146,485千円それぞれ増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
減価償却費	1,022,788千円	1,277,751千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年2月25日 定時株主総会	普通株式	75,480	5.00	平成25年11月30日	平成26年2月26日	利益剰余金
平成26年7月15日 取締役会	普通株式	100,776	6.00	平成26年5月31日	平成26年8月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成26年4月1日を払込期日とする公募による自己株式の処分(一般募集)を行ったことに伴い自己株式処分差損が84,300千円発生したことにより、当第3四半期連結累計期間において同額利益剰余金が減少するとともに、自己株式が656,261千円減少しております。

また、平成26年4月30日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分(オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連する第三者割当)を行ったことに伴い自己株式処分差損が12,531千円発生したことにより、当第3四半期連結累計期間において同額利益剰余金が減少するとともに、自己株式が97,552千円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金が12,734,554千円、自己株式が240,816千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年2月24日 定時株主総会	普通株式	100,776	6.00	平成26年11月30日	平成27年2月25日	利益剰余金
平成27年7月14日 取締役会	普通株式	83,980	5.00	平成27年5月31日	平成27年8月17日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅建材事業	合板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,641,384	15,737,893	44,379,277		44,379,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高		3,350,597	3,350,597	3,350,597	
計	28,641,384	19,088,490	47,729,874	3,350,597	44,379,277
セグメント利益	1,618,160	1,300,082	2,918,242	1,055,837	1,862,405

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等 5,062千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 1,050,775千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅建材事業	合板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,645,014	15,099,643	43,744,657		43,744,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高		2,282,897	2,282,897	2,282,897	
計	28,645,014	17,382,540	46,027,554	2,282,897	43,744,657
セグメント利益	1,164,006	97,927	1,261,933	956,248	305,685

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等 42,998千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 913,250千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	61円87銭	1株当たり四半期純利益金額	21円30銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	991,334	357,782
普通株式に係る四半期純利益(千円)	991,334	357,782
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,022	16,796

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第78期（平成26年12月1日から平成27年11月30日）中間配当については、平成27年7月14日開催の取締役会において、平成27年5月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	83,980千円
1株当たりの金額	5円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払い開始日	平成27年8月17日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年10月15日

株式会社ノダ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 若 尾 慎 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 春 山 直 輝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ノダの平成26年12月1日から平成27年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成27年6月1日から平成27年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成26年12月1日から平成27年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ノダ及び連結子会社の平成27年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。